



楠隼中学校・高校だより

全国から生徒が集う全寮制中高一貫教育校

中学校

「プロの世界を生き抜くために」 「トップリーダー教室」

3月11日本校の校訓である大志・叡智・至誠の涵養を目的とした「トップリーダー教室」生き方を学ぶ講演会」が開催されました。

今回は、サッカー元日本代表の福西崇史氏に「プロの世界を生き抜くために」組織の中で自分を活かす」と題してリモートで御講演いただきました。福西先生の実体験を基にした数々のお話を伺うことで、実社会の一線で活躍するために、壁を乗り越えてきた先達の生き方を教えていただき、自分の今後の生き方やあり方を考えるきっかけをいただきました。また、福西先生から事前にいただいた課題について、生徒たちは自分たちで考え、調べた内容を基に資料を作成していました。福西先生に堂々とした態度や内容で行ったプレゼンテーションは素晴らしかったです。この経験は、日本や世界に目を向けるだけではなく、地域社会に尽くす人になるためにどうすればよいのかという目的意識や学習意欲を刺激され、学ぶことの意義を考える機会となったようです。



高校

第4回楠隼高等学校卒業式

楠隼高等学校第4回卒業式が令和3年3月1日に挙行されました。

新型コロナウイルス感染症対策のため、保護者の入場は各家庭1名まで、在校生は代表1名のみのお席など、式に参列できる人数は制限されましたが、無事式を終えることができました。

厳かな雰囲気の中で、56名の卒業生が学び舎を巣立っていきました。

中学校から入学した楠隼中学校1期生と、高校から入学した合計56名の卒業生は、3年間または6年間学校生活、寮生活をともに過ごしました。楠隼高等学校4期生として、行事や部活動をおおいに盛り上げてくれました。特に中学校から入学した中学1期生は、開校当時は多くの苦労があったかと思えます。

卒業生代表答辞の中で、前生徒会長は「この6年間は初めてのことばかりで、高い壁にぶつかるともあった。仲間と過ごした記憶が一番の宝。」と述べました。

新年度には新入生が入学します。学業、部活動にさらに励み、これからも地元を愛される学校でいられるように努力を続けていきたいと思います。

